

「野党は批判ばかり」の非難に答えます

与党や維新、一部メディアの「野党は批判ばかり」という非難は事実と異なり、自民党がどんなに間違った政治をやっても「黙って従え」と言わんばかりの暴論です。事実に基づく批判と建設的提案をしてきた野党の役割発揮が必要な時です。

日本共産党

野党が提案、実現させてきたコロナ対策

●PCR検査拡充●一人10万円の特別給付金●持続化給付金●家賃支援給付金など

野党が提案した共同法案

●原発ゼロ基本法案●選択的夫婦別姓法案●消費者の権利実現法案

野党が食い止めた悪法など

●検察庁法改定案を廃案に●入管法改定案を廃案に



PCR検査強化法案を共同提出する野党議員ら（2020年3月）

安倍元首相が支給を表明し、予算を組み替え。「減収補償はできない」との答弁を繰り返す政府・与党に対し、建設的提案を行い「持続化給付金」「家賃支援給付金」などの直接支援を実現。

◆**コロナ対策** 新型コロナ対策で野党が先頭に立って進めてきたのがPCR検査の拡充。政府が「検査抑制」論を振りまく中、医療機関や高齢者施設への「社会的検査」、繁華街などの「大規模・地域集中的検査」など感染抑止のための検査戦略を提案し、検査拡充を実現しました。

◆**「自粛と補償は一体に」** 野党は「一人10万円の特別給付金」の実現を要求。賛同が広がり、

間違った政治にも「黙って従え」というのでしょうか

事実に基づく野党による批判は、政治を動かし、新しい政治を生み出す力になります。

◆外国人の追い出しを強化する入管法改定案を事実上の廃案に（21年）、検察私物化を狙う検察庁法改定案の採決を阻止（20年）。

◆「桜を見る会」疑惑など国政私物化追及は、ウソや忖度のないまともな民主政治を取り戻すため。

9条改憲や大軍拡を批判するのは、9条を生かした平和外交で世界に貢献する日本をつくるためです。

◆「野党の批判は国民の批判でもあり、野党の追及は国民の追及」「『野党は批判ばかり』という非難は、野党に責任を放棄させ、自民党政治への屈服、追従を迫る暴論でしかありません」（植松健一・立命館大教授＝「しんぶん赤旗」12日付より）

著名人も指摘

「野党は批判ばかり」には著名人からも批判が上がっています。

作家の中村文則さん

「日本の野党は大変だと思う」「いい対案も多く出しているが、マスコミはその事実を報じず『野党は批判ばかり』と言う。何だかもう、フェイクニュースである」（「毎日」電子版2日付）

作家の平野啓一郎さん

「野党が批判するのは、次から次へと、とんでもないスキャンダルが噴出し続けたからで、それは誰が悪いのか？与党だろう。それを追及しきれなかったメディアは、何故『野党は批判ばかり』という愚論に荷担するのか？」（ツイッター）

——
事実はまったく違う
様々な提案実現

古い政治への批判が
新しい政治を生み出す